



市政の課題 将来の展望を

ただ
質す

6月22日(7名)・23日(3名)の計10名の議員が登壇し、豆田市長に対し、市政の課題や将来展望に対する考え方について、一般質問を行いました。

緊急時の医療・連絡情報キットを 無料配布してはどうか



竹内友江 議員

問 高齢者夫婦、独居老人や単身学生、障害者の方の緊急時の不安を払拭するため、医療・薬剤・緊急連絡先等の情報や、健康保険証の写し、また延命装置・臓器提供への希望を明記した用紙を入れるキット(冷蔵庫で保管)を無料配布し、市民の安心・安全を守る考えはないか。また希望者には有料で配布する考えはないか。

答 緊急の場合に、医療情報等を駆けつけた救急隊員に知らせることは、迅速な救急処置を行い生命を救うための有効な手段の一つであると考えます。しかし、その情報が

更新されていない場合は、それが間違った情報となるケースも考えられます。また、情報の中には、個人情報も入っており、プライバシーや防犯面の課題もあります。この制度を既に導入している市町村があることは、承知しており、単身学生への無料配布、希望者への有料配布の問題も含めて今後調査、検討してまいります。

その他の質問事項

- 新総合計画策定に向けた市長の基本構想・基本計画案案のビジョンはどのようなものか
- 公民館のあり方(再任用職員への変更の考え方)について

校庭・園庭を教育上、環境保全上 において効果のある芝生化を



前川弘文 議員

問 スポーツ活動の安全性や快適性、強風時の砂塵の飛散防止、照り返しや気温上昇の制御効果及び学校・幼稚園・保育所と地域の連帯協働の強化のために、校庭や園庭を維持管理費が低コストであるポット苗移植法により芝生化してはどうか。砂塵や水はけ等に課題のある校庭・園庭からモデル的に導入を始めることを提案する。

答 ポット苗移植法は、西洋芝(ティフトン419)を選定し、株を等間隔に植え、水をやりながら成長させる方式で「鳥取方式」と呼ばれており、従来のマット状の芝を敷き詰める方式に対して安価で施行、維持管理できるものとされています。しかし、校庭・園庭の利用形態、施行範囲、水遣り、芝刈り、等の問題、また市、学校・園・保育所、保護者等における役割分担や費用負担の問題があることから、近隣市町の導入状況等について調査し、モデル校での実施を含め検討してまいります。

その他の質問事項

- 女性特有のガン検診率向上の取り組みについて
- 肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について

赤穂駅周辺整備(株)と元役員 の損害賠償金弁済の合意について



小林篤二 議員

問 合意に「気の毒だ」の声がある。気の毒なのは市民だ。H16年4月広報で、市長は3セク破綻を詫言った。また、議会でも社内の決定内容を説明し、知らせると約束した。①市民社会の秩序が保てるのか。②損害を与えた市民にどう釈明するのか。③残金は役員が責任を持つのか。④市の損害は誰が責任を果たすのか。伺う。

答 ①合意の内容は民間会社の問題であり、税等の公的債権と同列で論じることとはできず、顧問弁護士によって適法に処理されており、市民社会の秩序を乱すものとは考えておりません。②この問題は、会社が民事再生申立てに至る

その他の質問事項

- こみ処理有料化、下水道使用料値上げの撤回について 外

